



川永小学校だより

教頭 大石 涼子

7月になりました。長かった臨時休校が明け、学校はようやく令和2年度の教育活動が始まり出しました。長期に渡る休業中、保護者の皆様、地域の方々には、様々な対応に加え、子どもたちの生活や学習を支えてくださり、誠にありがとうございました。あらためまして、心より御礼申しあげます。

ここに、休校中に感じたことを書いた作文があるので、紹介したいと思います。

あたり前の日常
川永小学校 六年

私はこのコロナウイルス対策で気づいたことがあります。それは、当たり前の日常です。今まで当たり前のように学校へ行き、習い事に行き、みんなと一緒にあそんだりしてきました。それがこのコロナウイルスでなくなり、学校へ行くことがどれだけ幸せだったのかに気づかされました。今まで朝起きて、はあ、また学校か。今日は行きたくないな。などと思う日もありましたが、コロナウイルスが流行し、学校に行きたくても行けなくなりました。毎日、朝起きて早く学校に行きたい、と思う毎日です。コロナウイルスはもちろん嫌なウイルスだし、早く終息してほしいけど、逆に当たり前だった今までの生活がどれだけ幸せだったかに気付けるチャンスにもなりました。今まで出来なかった家族とのいろんな経験もすることができました。だから私は、この経験などをこれからの生活に生かしていきたいと思います。まだまだ不安はありますが、この学校へ行くこととの幸せとありがたみを感じ、学校へ行く日一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

この子のように、早く学校に行きたい、勉強がしたい、みんなに会いたい、と願っていた子がたくさんいたことだと思います。まだまだいつもと違う日常ですが、わたしたち教職員も子どもたちのために、日々の教育活動に精いっぱい取り組んで参ります。引き続き、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



1年生のあさがおも、こんなに大きく育っています。